

**防賀川** 【元禄時代以前から地域の用水・排水の要として貴重な川でした】

大住の農地を育む木津川用水の柱ですが、元禄頃の昔は農用地や集落地排水を速やかに木津川に排出する幹線排水路としての役割が大きかったようです。

農業用水路としての充実は戦中戦後に行われた改修事業と堰の建設以降のことです。近年では、用水路機能に併せて都市排水路としての役割が大きくなり、府管理の一級河川として必要な機能整備を図るよう強い地元要望があります。

護岸や堤防、橋梁は老朽化しつつあり、改修が必要  
堤防下部の損耗がひどく、現状で河川水位が低下すると田から漏水するヶ所がある

淀川水系木津川の安定化に目処が付いたことから平成 22 年から改修計画検討が始まりました。平成 24 年 5 月に改修基本計画が公表されましたが、永年の地域の取り組みの成果として防賀川改修が取り上げられました。今後は、地域が一体となって更に推進することが重要です。

平成 24 年末の各区連名の要望はこうした観点から極めて有効な取り組みでした。地域用排水の効率化及び集落地内の環境改善のため、新名神高速道路の開通に先駆けて河川の改修がなされることを期待しております。

ご挨拶 会長 小田 壽樹  
役員 一同

新年明けましておめでとうございます。  
当準備委員会活動も平成 22 年から数えて足かけ 4 年目を迎えました。  
この間、東日本大震災をはじめとする多くの災厄が我が国を襲いましたが、ようやく復旧と復興の曙光が見え始めたものと慶んでいるところです。

当土地区画整理組合設立準備委員会活動も一歩ずつ歩んで参りましたが、ようやく積年の府市の取り組み、地元有志の取り組み、当準備委員会顧問をはじめとする皆様の取り組みが奏功し、具体的な明日の大住地域づくりへの光が見え始めております。

まだまだ多難な道程ではありますが、新年及び新年度は地元の期待に応え、不安の解消に努めるべく大きな一歩を踏み出せるよう新たな取り組みの段階に入りたいと、役員一同覚悟を新たにしているところでございます。

皆様のなかには、未知の分野であることや、今の社会情勢などから、まだまだご不安をお持ちの方がいるかも知れませんが、行政の積極的な支援も得て、遺漏なきを期し、地域農業の永続的な発展と地域コミュニティの存続とを賭けた取り組みとして、解決できない問題は無いものと確信しております。

年始にあたり、準備委員会役員、事務局（牧草コンサルタンツ（株））ともに顧問団のお力も得て鋭意取り組んで参りますので、よろしくご理解ご協力のほどをお願いを申し上げる次第です。

大住土地区画整理組合設立準備委員会機関誌

平成 25 年 1 月 20 日 第九号

編集 大住土地区画整理組合設立準備委員会

発行 会長 小田 壽樹

事務局 牧草コンサルタンツ（株） 内

京田辺市東西神屋 28 番地の 1 0774-62-3448

# しんおおすみ

ご挨拶

京田辺市議会 議長 市田 博

新年明けましておめでとうございます。

準備委員会顧問の市田でございます。市議会では昨年末新たに議長の重責を仰せつかったところでございます。

さて、会員並びに役員各位におかれては、大住土地区画整理組合設立準備委員会活動への取り組み、誠にご苦労様でございます。

省りみれば、「大住地域の明日を考える会」として地元活動を開始されて以来、幾多の社会経済的風雪にも耐えながら、実現に向けた取り組みを続けられていることに対し、深い敬意と感謝の意を表するものです。

この間、会員各位、また地元住民の皆さまにおかれても期待と不安の入り交じった感情をお持ちであること良く承知しておりますし、役員各位におかれても、事業についての理解と協力を得るべく行政の支援、協力も得ながら、課題を一つ一つ解決するべく努力されていることも目の当たりにして参りました。

準備委員会におかれては、昨年 3 月の総会で、新たな取り組み方針を示されました。その基本は、地域振興の要としての当該事業を遂行するにあたり、全員合意を得るため慎重に検討を進めること、河川整備他の地域の課題について、更に地元住民の皆さまの懸念を払拭すべく努力を重ねること、等であったと存じております。昨年 8 月の大雨もあり、その後の経過も踏まえ、今号では、大住地域のまちづくりの基本である「防賀川」改修計画も取り上げる、とのこととございました。

また、この間の取り組みにより、新たな企業情報も寄せられたと伺っております。こうした事柄を前向きにとらえ、出来るだけ早く取り組みの成果が全国に発信できるよう、準備委員会顧問として皆さまと共に頑張る所存でございます。

新名神高速道路の建設工事が佳境に入る今年こそ、大住地域のまちづくりが飛躍的に進むことを切に祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

本号に関するご意見、ご質問等がありましたら、お気軽にご連絡、ご相談下さい。

問い合わせ先/事務局 牧草コンサルタンツ株式会社内

電話 0774-62-3448

電子メール project@makigusa.co.jp

担当 田中 道男 里西 泰彦

山城北土木事務所(11月28日)宛「防賀川改修要望書」を提出。



【写真提供 京田辺市】

12月26日には京都府建設交通部河川課にも同要望書(写し)を提出しました。

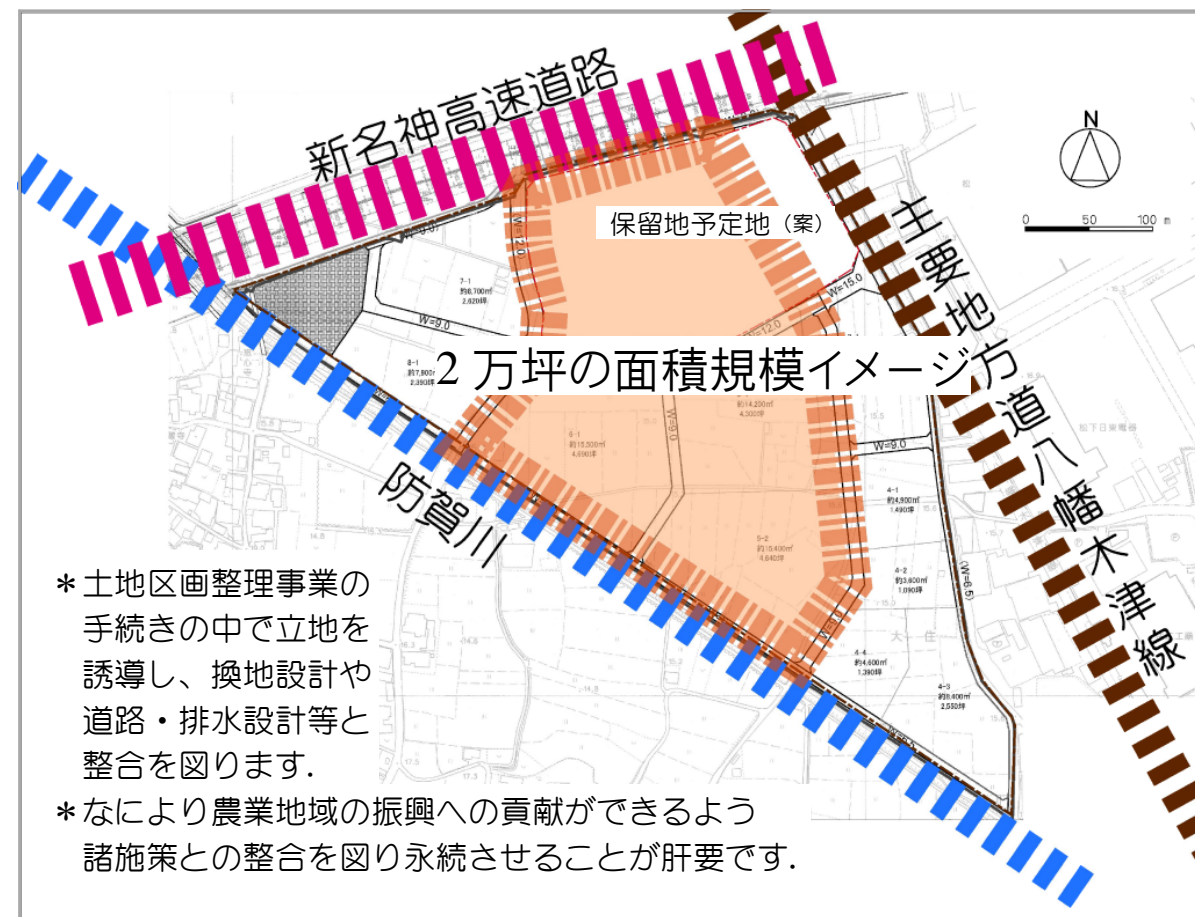
**「結果の要約と展望」**

府:防賀川は八幡工区に続いて上流側整備に着手したいと考えている。  
 H24.8.14の豪雨被害の影響も大きいので、慎重に事業計画の詰めを行っている。  
 府:本庁としても上流側整備を継続して行いたい考えである。  
 計画、予算案を詰めている段階で、今後国交省協議も経て決定に至る予定。  
 用地取得への協力、事業同意取得への取組をお願いしたい。  
 区:必要用地範囲を現地で説明する、協力を地元へ直接要請する、等取組を急がれたい。  
 府:鋭意設計検討の取組は行っている。(;区側要望 と :府側説明 大意です)

※新名神建設日程に併せてどこまで改修できるか段取りを明確にできにくい段階ですが、新名神の完成する平成28年度末までに流路の改善を行うことは必須です。  
 ※東林堰を含む更に上流までの整備計画を土地区画整理事業の進捗状況も勘案しながら検討して頂いている段階と考えられます。

京田辺市と区の立場で要望していることは、改修基本計画による「整備区間③」虚空蔵谷川流入点から手原川横断地点までの延長約3,160m区間のうち「立地蔵橋」までの約1.7km区間を事業計画区間として頂くことです。  
 地元区からは、必要用地幅他の現地説明等を急いで欲しい等を申し入れたとのこと、当準備委員会としても取組みを強化することが必要です。

※「2万坪の敷地を希望する食品加工企業が立地条件について、この大住工業用地拡大事業地で検討したいとの打診がありました。」



- \*土地区画整理事業の手続きの中で立地を誘導し、換地設計や道路・排水設計等と整合を図ります。
- \*なにより農業地域の振興への貢献ができるよう諸施策との整合を図り持続させることが肝要です。

※上図は、問い合わせのあった2万坪を中央部に配置した場合の規模イメージです。  
 ※こうした情報を受け止め、準備委員会としても活動を活発化させたいと存じます。  
 このため、地域との協調の元で早期に事業計画の素案を策定し、農業施策との調整を経て、都市計画上の手続きを行い、事業認可申請を行うように段取りを進めたいと考えています。(防賀川改修を促進するためにも当事業への取組みが必須です。)

※大住の工業用地拡大事業地では、食料品製造加工から販売流通まで、地域一円での原材料調達も期待でき、地域で完結出来る企業活動が可能です。  
 「地産地消」を合い言葉とする当該事業が少しずつ具体的に進められるようになって参りました。

**「平成25年の取組」**

※防賀川の改修事業を促進し、その後の地域防災対策への連続性とを担保していくことを目的として「地域のまちづくり」の起点となる「大住土地区画整理事業」を進めます。  
 ※次の世代に委ねる農業基盤の保全と強化を図り、地域の経済基盤を高める事業です。  
 地域の声や思いをさらに取り入れて「やって良かった」と言える取組みと致します。  
 ※よろしくご理解とご協力を賜るようお願いを申し上げます。